

2025年度 第1四半期決算 通期業績予想



2025年7月31日
日本軽金属ホールディングス株式会社

2025年度 第1四半期決算、中間期・通期業績予想 サマリー

第1四半期決算 営業利益52億円(前年同期比+25%)経常利益43億円(同△6%)
予想経常利益 中間期80億円、通期210億円 (25/5/15公表値据え置き)

1. 第1四半期決算

- 販売面：自動車関連は一部回復傾向も依然低調・半導体関連は需要回復先送りも、トラック架装関連は堅調継続、放熱向けは好調、加えてアルミ地金市況反映販価が前年同期上回り売上高増
- 採算面：アルミ地金市況反映によるコスト上昇も、販売面影響と販価改定効果の発現で前年同期を上回る営業利益に。経常利益・四半期純利益は為替差損影響等で前年同期下回る

2. 中間期・通期業績予想

- 業績進捗は基本的に期首予想にオンライン
- 自動車関連は回復傾向、半導体関連(製造装置向け)は下期後半の回復想定に、リチウムイオン電池(LiB)関連はケース材向けが好調継続、外装用箔は市場動向注視
- 米国追加関税影響は現時点で見られずも、動向注視は継続で、先行きへの見方も変えず

米国・輸入関税追加措置 当社グループへの影響

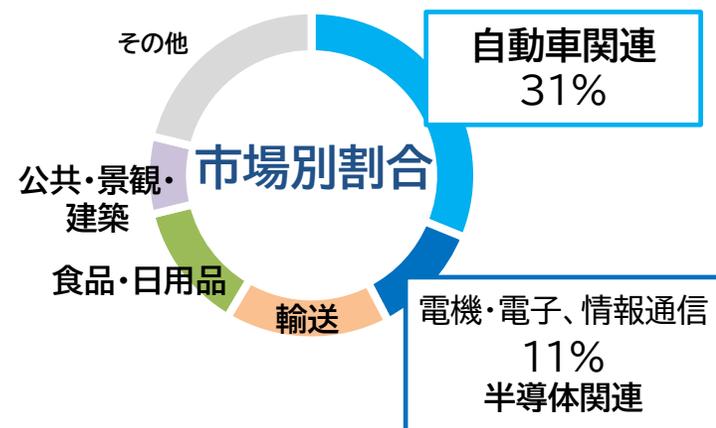
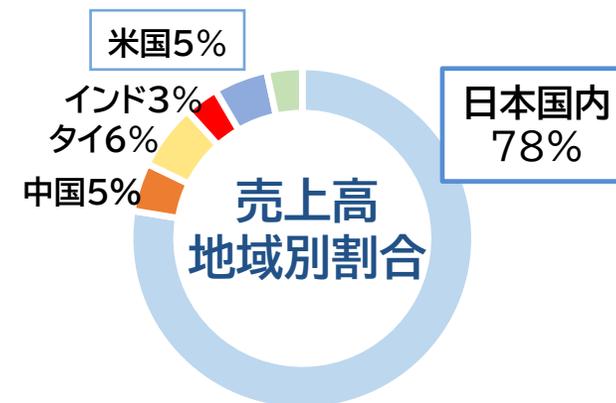
現時点で影響見られず、影響予想は軽微(業績予想に織り込まず)

直接影響 僅少 (海外「地産地消」が過半、対米直接輸出 連結売上高の0.5%程度)

間接影響 引き続き動向を注視 (自動車・半導体・鉄鋼)

影響想定(2025/5/15開示内容 再掲)

セグメント	事業グループ	直接影響 (対米直接輸出売上高規模)	間接影響 (お客様影響)
● アルミナ・ 化成品、地金	化成品	僅少(炭素製品)	注視(鉄鋼・自動車)
	メタル	無し	注視(自動車)
● 板、押出製品	軽圧	僅少(押出)	注視(半導体・自動車)
	輸送機器	無し	無し
	自動車部品	無し	注視(自動車)
	エンジニアリング	無し	注視(半導体)
● 加工製品、 関連事業	インフラ	無し	無し
	箱	僅少(パウダー・ペースト)	注視(自動車)



販売価格改定実施状況

化成品、トラック架装(輸送機器事業グループ・日本フルハーフ)はじめ、順調に進捗

セグメント	事業グループ／部門	価格改定対象	開始時期	改定内容
● アルミナ ・化成品、地金	化成品事業グループ 日軽金・化成品	・ 水酸化アルミニウム、アルミナ	2024年6月	－ 現行価格の10%以上値上げ
			2025年1月	－ 水酸化アルミニウム20円/kg以上、 アルミナ30円/kg以上値上げ
● 板、押出製品	軽圧事業グループ 日軽金・板	・ 全てのアルミニウム板製品	2023年1月	－ 原燃料サーチャージ導入
			2024年2月	－ 加工賃(ロールマージン価格):20%程度値上げ
	2025年6月	－ 加工賃(ロールマージン価格):20%以上値上げ		
	軽圧事業グループ 日軽金アクト	・ アルミニウム押出製品全般	2025年2月	－ 加工賃(ロールマージン価格):20%以上値上げ
● 加工製品、 関連事業	輸送機器事業グループ 日本フルハーフ	<ul style="list-style-type: none"> ・ バンボデー、トレーラ等を含む全商品 ・ バンボデー、トレーラ等 全製品、部品全般 	2023年3月	－ 現行価格の10～15%値上げ
			2024年5月 (部品8月)	<ul style="list-style-type: none"> － 製品:20%値上げ － 部品:15～30%値上げ
● 箔、粉末製品	箔事業グループ 東洋アルミニウム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 樹脂・紙原料の家庭用商品 ・ 箔・加工品、パウダー・ペースト全品種 	2023年7月	－ 20%以上
			2025年4月	－ 労務費上昇分+個別対応で値上げ

目次

1. 2025年度 第1四半期決算
2. 2025年度 通期業績予想

2025年度第1四半期決算 – 前年同期比

増収、営業利益で増益（加工製品、関連事業の改善と箔、粉末製品の増益）
 経常利益・四半期純利益では前年同期下回る（為替差損等）

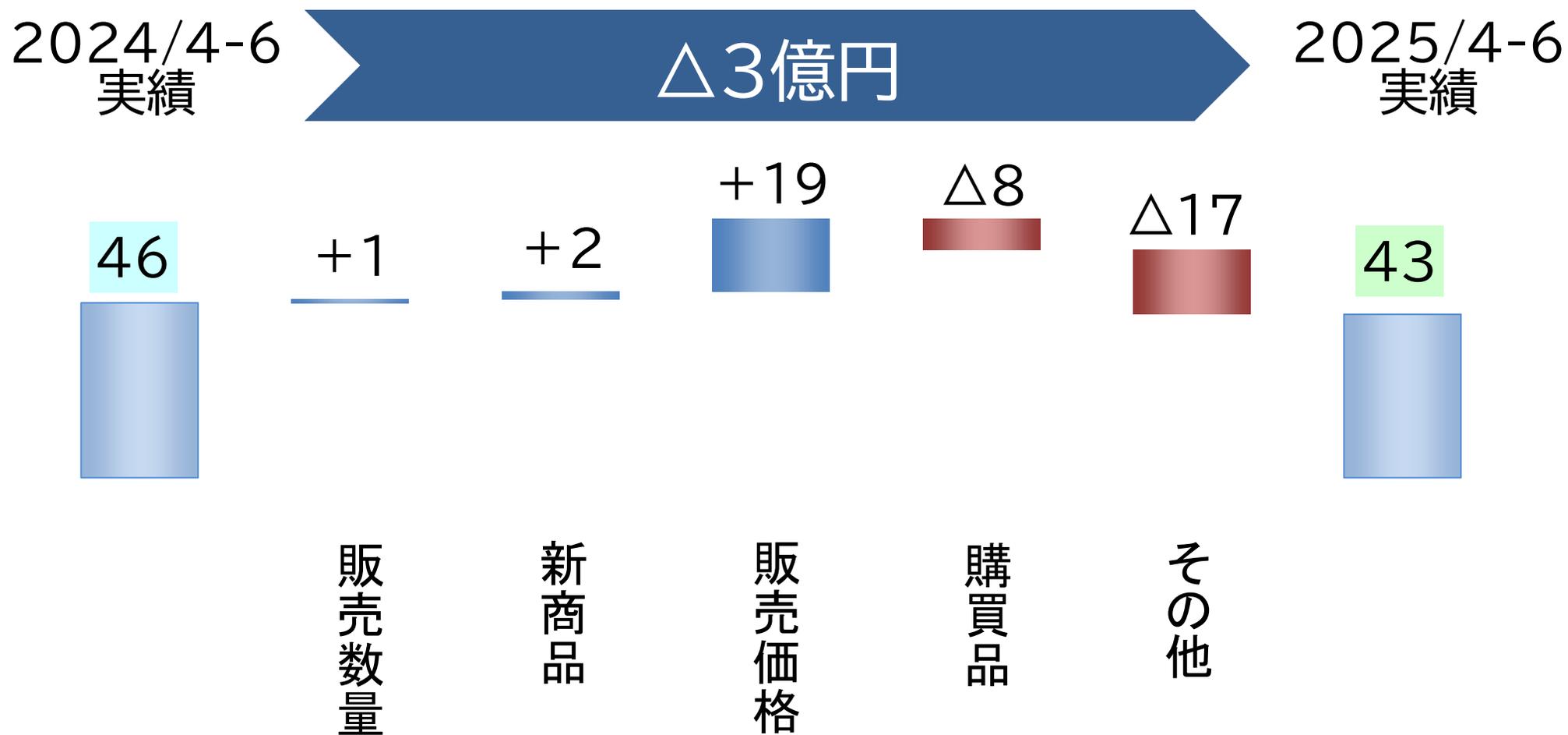
(億円)

	2024/4-6 実績	2025/4-6 実績	増減
売上高	1,286	1,371	+85 (+6.6%)
営業利益	42	52	+10 (+24.8%)
経常利益	46	43	△3 (△6.5%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	21	21	±0

2025年度 第1四半期決算

経常利益変化要因 – 前年同期比

トラック架装等での販売価格改定効果が営業利益を押し上げるも
為替差損(前年同期の為替差益との差額約11億円)が経常利益を押し下げ



2025年度 第1四半期決算

セグメント情報 – 前年同期比

加工製品、関連事業：トラック架装は販価改定効果、自動車部品は前年同期比増販等で改善
 箔、粉末製品：LiB外装用箔(車載用)が調整局面より需要増に、放熱用パウダー製品好調

(億円)

	売上高			営業利益		
	2024/4-6 実績	2025/4-6 実績	増減	2024/4-6 実績	2025/4-6 実績	増減
アルミ・化成品、 地金	406	435	+29 (+7.1%)	38	34	△4 (△12.4%)
板、押出製品	241	266	+25 (+10.3%)	7	6	△1 (△2.5%)
加工製品、 関連事業	374	392	+18 (+4.9%)	△11	△1	+10 (+)
箔、粉末製品	265	278	+13 (+4.8%)	18	22	+4 (+21.1%)
管理・共通	—	—	—	△10	△9	+1
合計	1,286	1,371	+85 (+6.6%)	42	52	+10 (+24.8%)

2025年度 第1四半期決算

アルミナ・化成品、地金

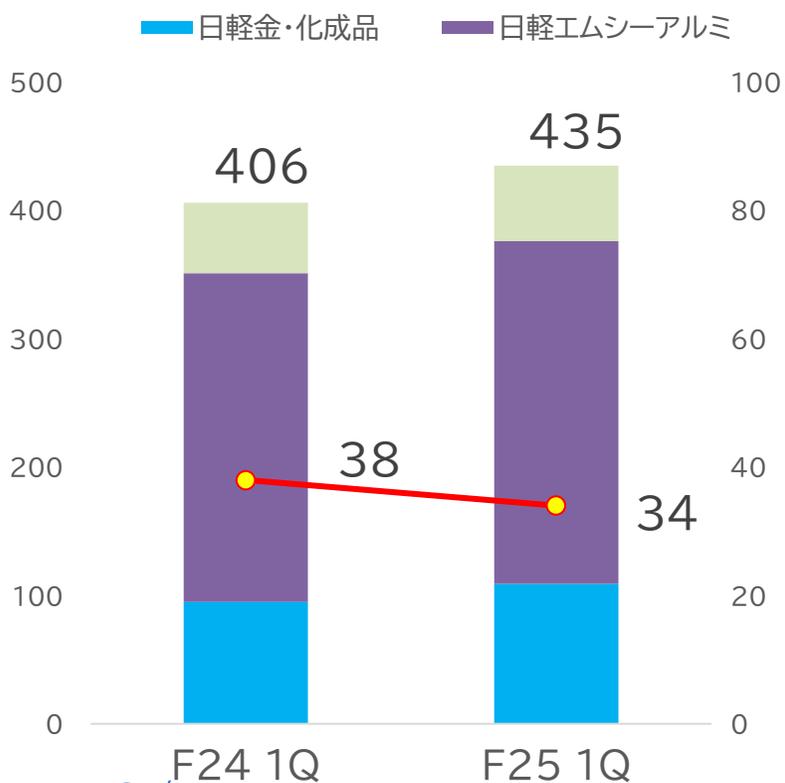
化成品増益(放熱商品増販+販価改定)、メタル・二次合金増益(国内自動車低調も米国堅調・インド本格操業寄与で海外増販)もアルミ市況反映コスト上昇影響が大きく、減益に

売上高(億円)

営業利益(億円)

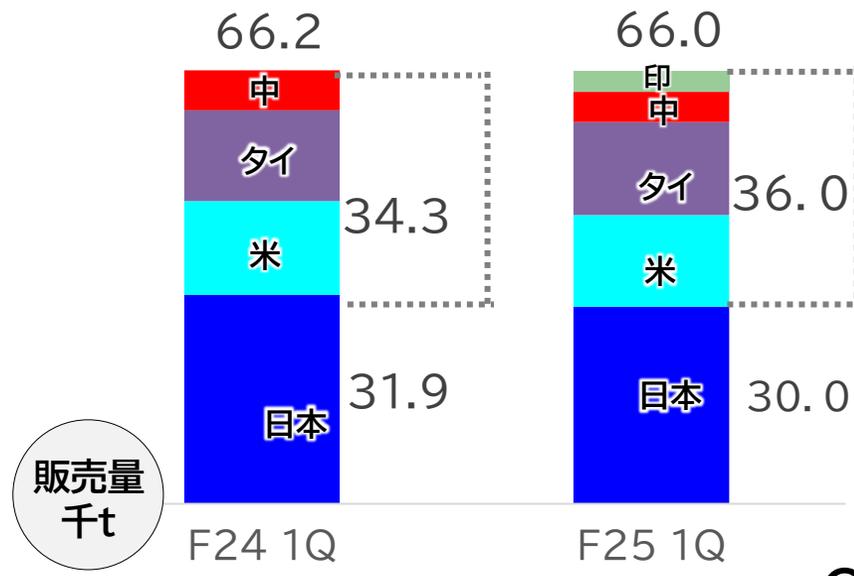
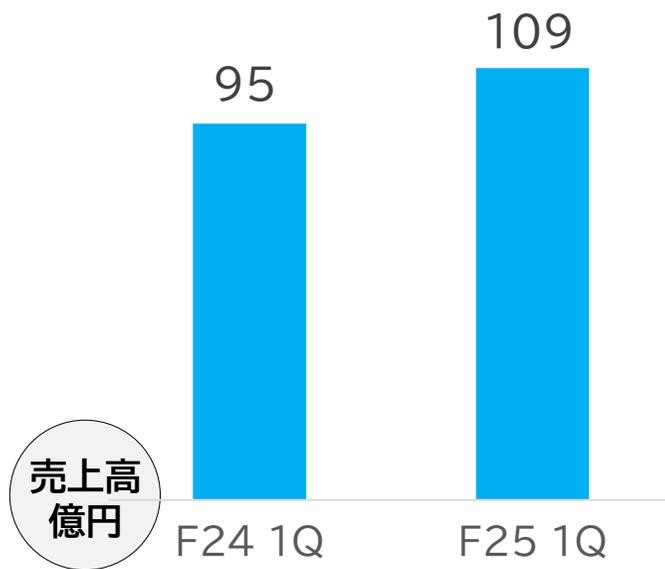
化成品事業グループ
化成品部門(日軽金・化成品)

メタル事業グループ
二次合金部門(日軽エムシーアルミ)



- アルミナは放熱難燃フィラー向け等で増販、化学品は無機塩化物が鈍化も、売上高増加
- 原料価格上昇によるコスト増影響も販価改定効果と増販で前年同期上回る営業利益に

- 日本 国内自動車生産は依然低調
- 海外 米国は堅調継続でタイは前年同期上回る販売も中国は販売減、インドは昨年操業開始拠点の本格増業化で、販売増

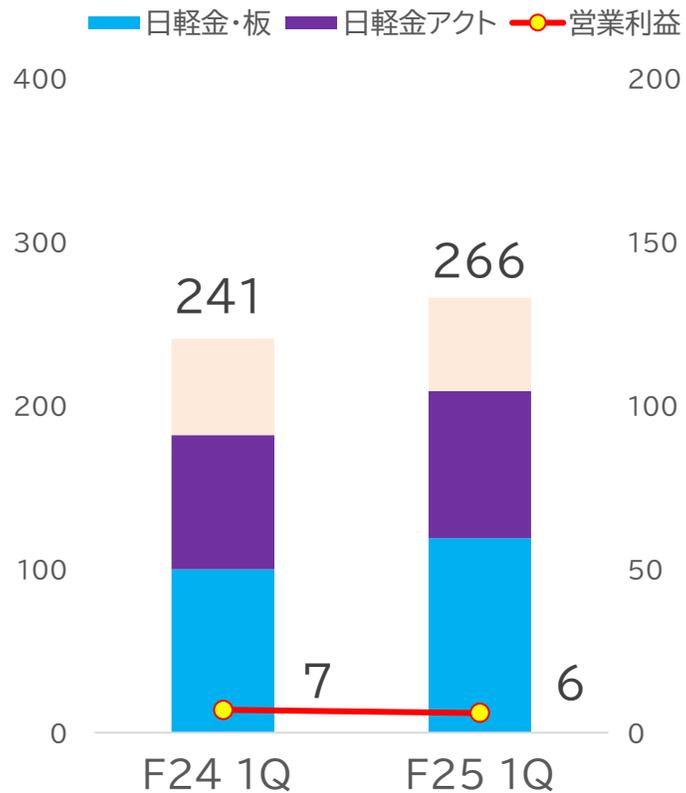


2025年度 第1四半期決算 板、押出製品

LiB向けケース材好調・トラック架装向け堅調・加工賃改定効果も、半導体製造装置向けの回復基調鈍化に加え、アルミ市況反映のコスト上昇影響で、前年同期利益は下回る

売上高(億円)

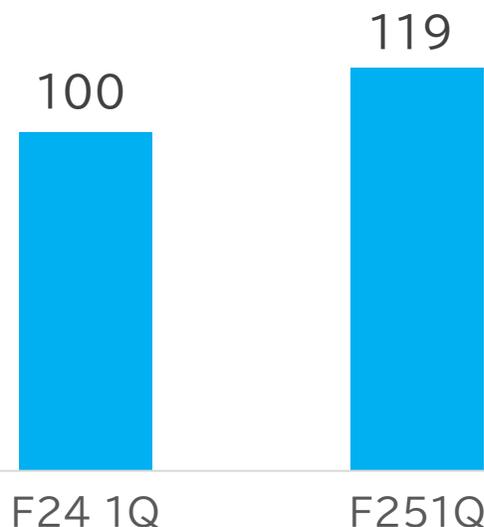
営業利益(億円)



軽圧事業グループ
板部門(日軽金・板)

- 半導体製造装置向けは回復基調が鈍化、リチウムイオン電池ケース向けは好調
- 加工賃改定効果もアルミ市況反映のコスト上昇影響大きく、前年同期利益は下回る

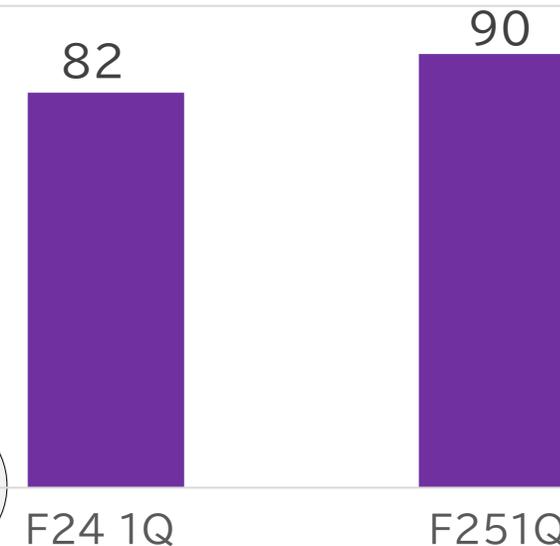
売上高
億円



軽圧事業グループ
押出部門(日軽金アクト)

- トラック架装向けは堅調継続も、半導体製造装置向けは前年同期下回る販売に
- 加工賃改定の効果もアルミ市況反映のコスト上昇影響で前年同期を下回る利益に

売上高
億円



2025年度 第1四半期決算

加工製品、関連事業

輸送機器(トラック架装)改善継続、自動車部品は国内減産影響より回復で中国低迷継続も利益改善、エンジニアリングのパネルシステムはクリーンルーム向けが一部落着きも前年同期利益上回る

売上高(億円)

営業利益(億円)

輸送機器事業グループ(日本フルハーフ)

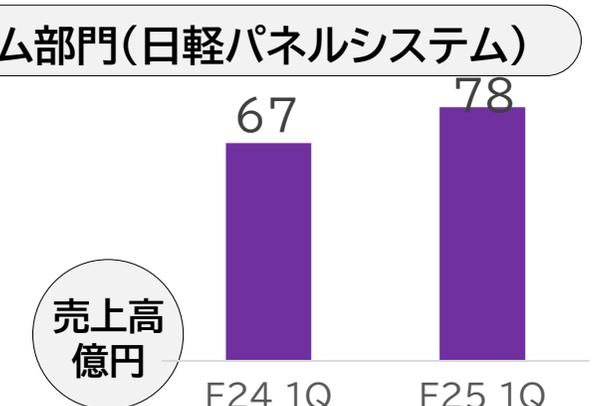
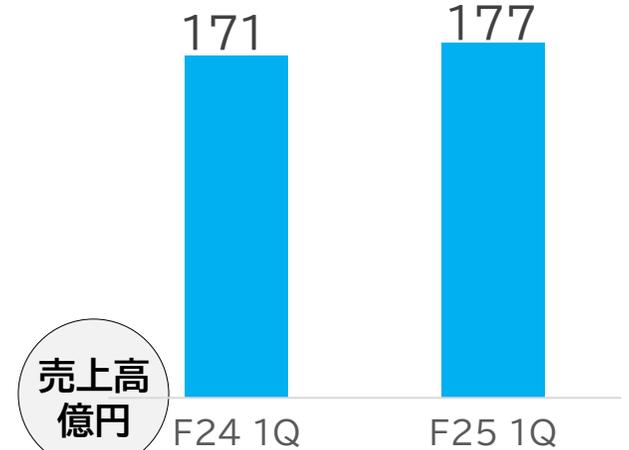
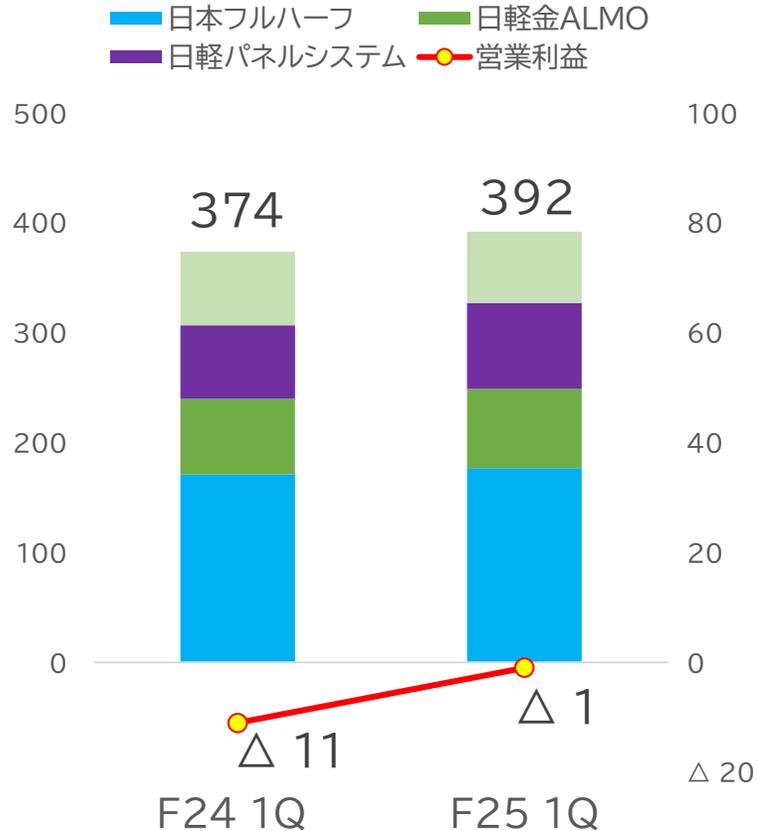
- 前年に続き販売堅調継続
- 販売価格改定効果の発現に加え、材料価格が軟化、前年同期より利益改善

自動車部品事業グループ(日軽金ALMO)

- 国内は自動車減産影響からの回復と新規案件上市で増販、中国での低迷は継続も増販
- 増販、品種構成改善、固定費削減効果もあり、前年同期より利益改善

エンジニアリング事業グループ パネルシステム部門(日軽パネルシステム)

- 冷凍・冷蔵分野 物流拠点建替に加え、スーパー・コンビニ向け中小型物件の需要継続、建設費高騰・人手不足での工期遅れ影響有るも、売上高増加
- クリーンルーム分野 半導体関連向けが一部で落ち着き見られるも、前年同期上回る売上高に



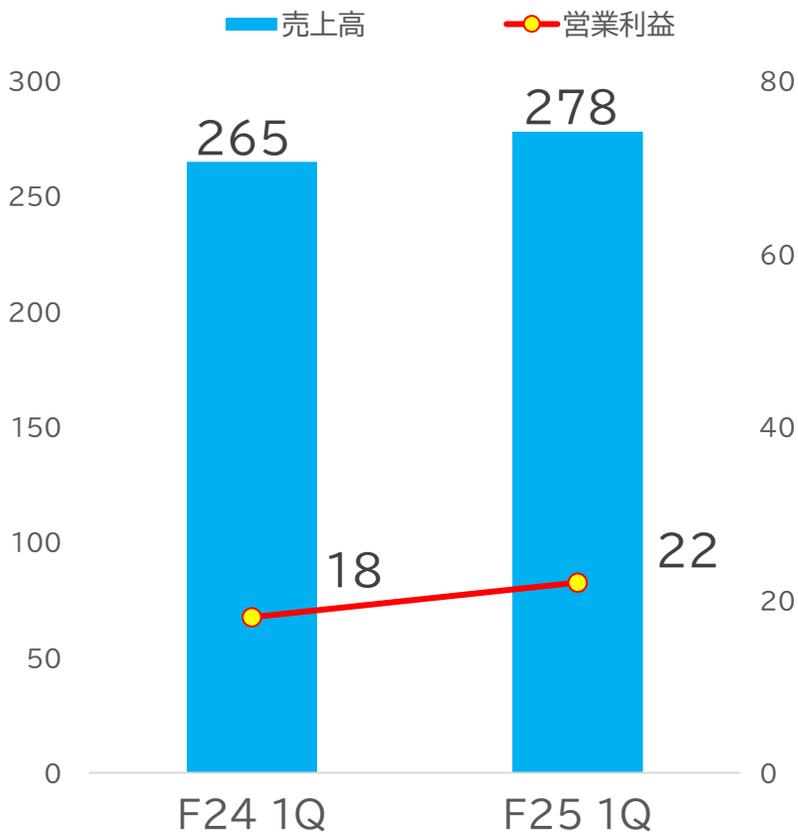
2025年度 第1四半期決算

箔、粉末製品

箔はLiB外装用箔が調整局面より需要増で医薬包材向けが国内は前年同期比減も海外品種構成影響で増販、パウダーペーストは放熱用パウダーの好調継続等で、前年同期比 増収増益

売上高(億円)

営業利益(億円)



箔事業グループ(東洋アルミニウム) 箔部門

- リチウムイオン電池外装用箔は調整局面続いていた車載用で需要増、医薬包材向け加工箔は国内が前年同期を下回るも海外販売の品種構成影響もあり前年同期上回る売上高に

パウダー・ペースト部門

- 放熱用途の電子材アルミパウダー・窒化アルミが需要好調、自動車塗料向けペーストは国内向けは自動車生産低調影響も海外が好調継続で前年同期上回る売上高に

日用品部門

- コンシューマー向けがアルミホイル・ハウスケア商品の販価改定効果を減販影響が上回り、パッケージ用品向けが冷食向けと紙容器向けで好調も、部門売上高は前年同期下回る

目次

1. 2025年度 第1四半期決算
2. 2025年度 通期業績予想

通期業績予想

期首予想(25/5/15公表)を据え置き

米国追加関税影響は現時点で見られずも、今後の動向への注視は必要

先行きに対する見方は変えず

(億円)

	2024年度 実績	2025年度 予想	増減
売上高	5,502	5,900	+398 (+7.2%)
営業利益	217	230	+13 (+5.8%)
経常利益	198	210	+12 (+6.1%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	124	150	+26 (+21.2%)

2025年度 通期業績予想

セグメント予想 – 通期業績予想 前期比

期首予想(25/5/15公表)を据え置き

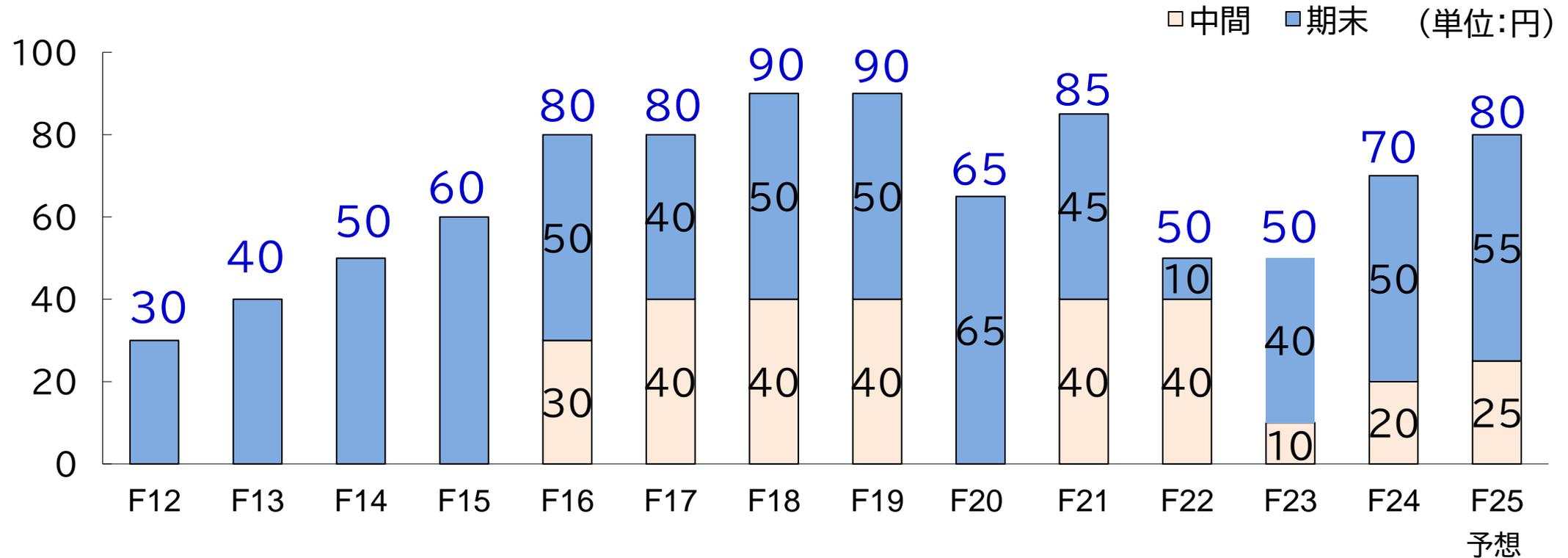
(億円)

	売上高			営業利益		
	2024年度 実績	2025年度 予想	増減	2024年度 実績	2025年度 予想	増減
汎用・化成品、 地 金	1,655	1,870	+215 (+13.0%)	115	85	△30 (△26.4%)
板、押出製品	1,036	1,110	+74 (+7.2%)	55	55	±0 (-)
加工製品、 関連事業	1,722	1,790	+68 (+3.9%)	32	60	+28 (+89.1%)
箔、粉末製品	1,089	1,130	+41 (+3.8%)	55	70	+15 (+28.2%)
管理・共通	—	—	—	△40	△40	±0
合 計	5,502	5,900	+398 (+7.2%)	217	230	+13 (+5.8%)

2025年度 通期業績予想 1株当たり配当金

2025/5/15公表予想を据え置き

1株当たり配当金 **80円**（中間25円、期末55円）、24年度比10円増配



当社は2020年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しておりますので、2019年度(2020年3月期)以前の1株当たり配当額については、当該株式併合の影響を考慮した金額としております。

補足資料

中間期業績予想

期首予想(25/5/15公表)どおりの基調で推移の見通し

(億円)

	24年度中間期 実績	25年度中間期 予想	増減
売上高	2,611	2,800	+189 (+7.2%)
営業利益	85	90	+5 (+5.5%)
経常利益	73	80	+7 (+9.9%)
親会社株主に帰属する 中間純利益	48	50	+2 (+4.0%)

中間期セグメント予想 – 前年同期比

加工製品、関連事業：トラック架装、自動車部品が利益改善
箔、粉末製品：第1四半期の基調継続

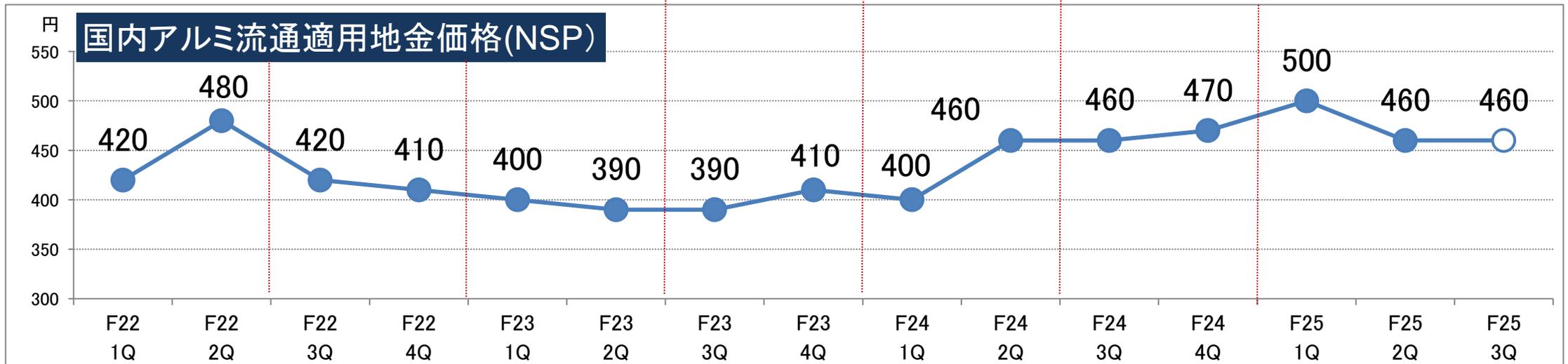
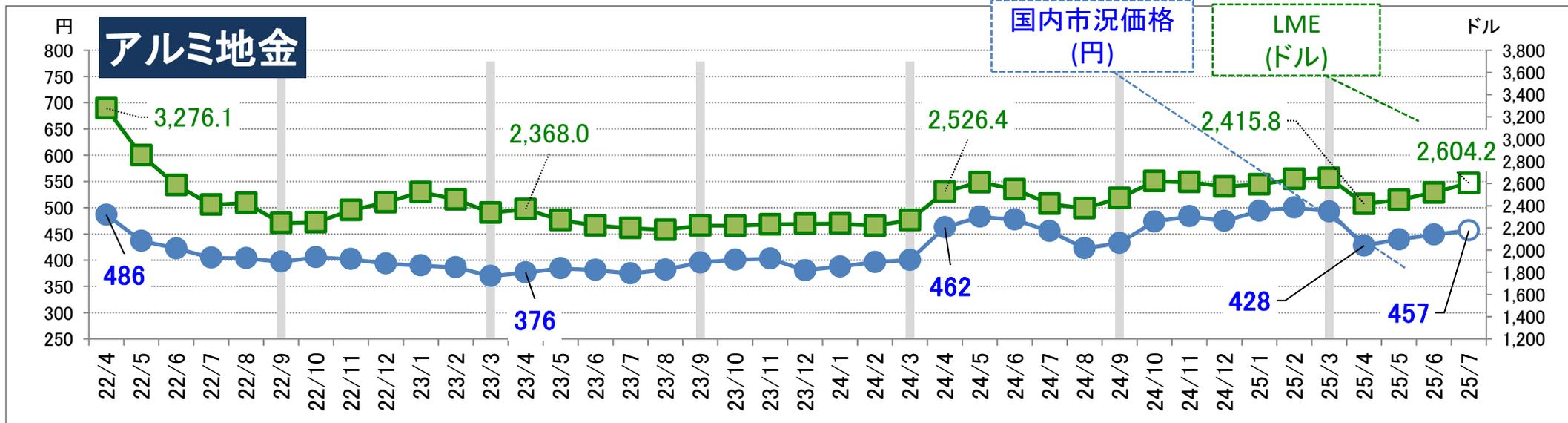
(億円)

	売上高			営業利益		
	24年度中間期 実績	25年度中間期 予想	増減	24年度中間期 実績	25年度中間期 予想	増減
アルミ・化成品、 地金	809	890	+81 (+10.1%)	68	60	△8 (△11.0%)
板、押出製品	493	550	+57 (+11.6%)	20	15	△5 (△25.7%)
加工製品、 関連事業	779	820	+41 (+5.2%)	△18	0	+18 (-)
箔、粉末製品	530	540	+10 (+1.8%)	32	35	+3 (+8.0%)
管理・共通	—	—	—	△17	△20	△3 (-)
合計	2,611	2,800	+189 (+7.2%)	85	90	+5 (+5.5%)

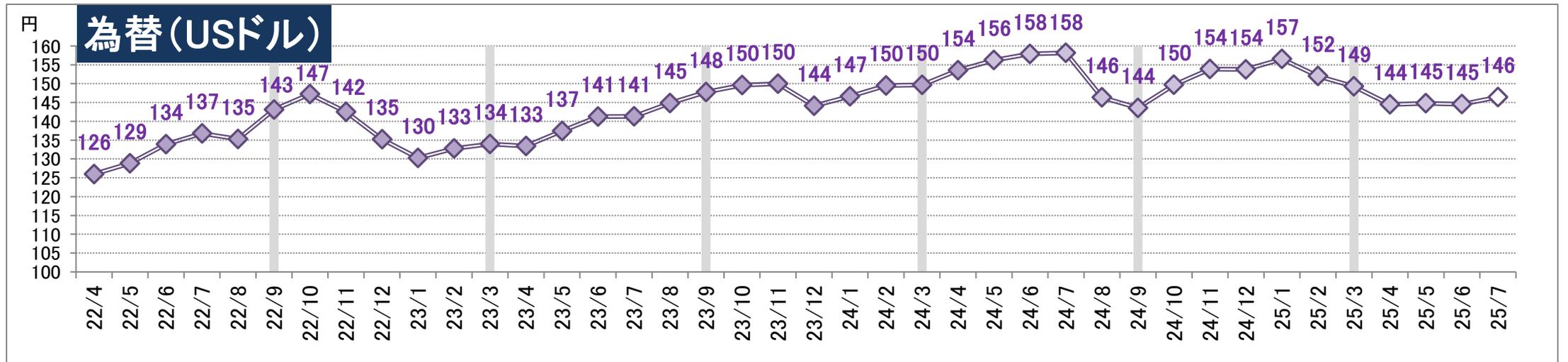
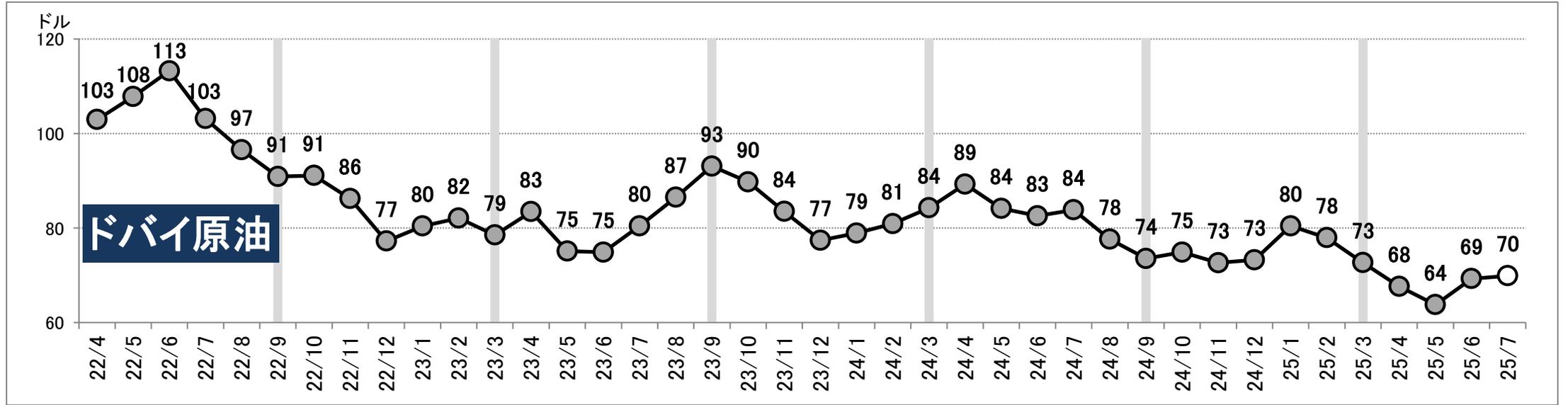
報告セグメントと事業グループを構成する主な部門

報告セグメント	事業グループ	主な部門	主要事業会社・事業部門
アルミナ・化成品、地金	<u>化成品</u>	化成品部門 炭素製品部門	日軽金・化成品 日本電極
	<u>メタル</u>	二次合金部門	日軽エムシーアルミ
板、押出製品	<u>軽圧</u>	板部門 押出部門 電子材料部門	日軽金・板 日軽金アクト 日軽金・電極箔
加工製品、関連事業	<u>輸送機器</u>	トラック架装	日本フルハーフ
	<u>自動車部品</u>		日軽金ALMO
	<u>エンジニアリング</u>	パネルシステム部門 景観エンジニアリング部門	日軽パネルシステム 日軽エンジニアリング
	<u>インフラ</u>		日軽金・蒲原、苫小牧 日軽物流
箔、粉末製品	<u>箔</u>	箔部門 パウダー・ペースト部門 日用品部門	東洋アルミニウム

アルミ地金価格推移



原油価格・為替推移



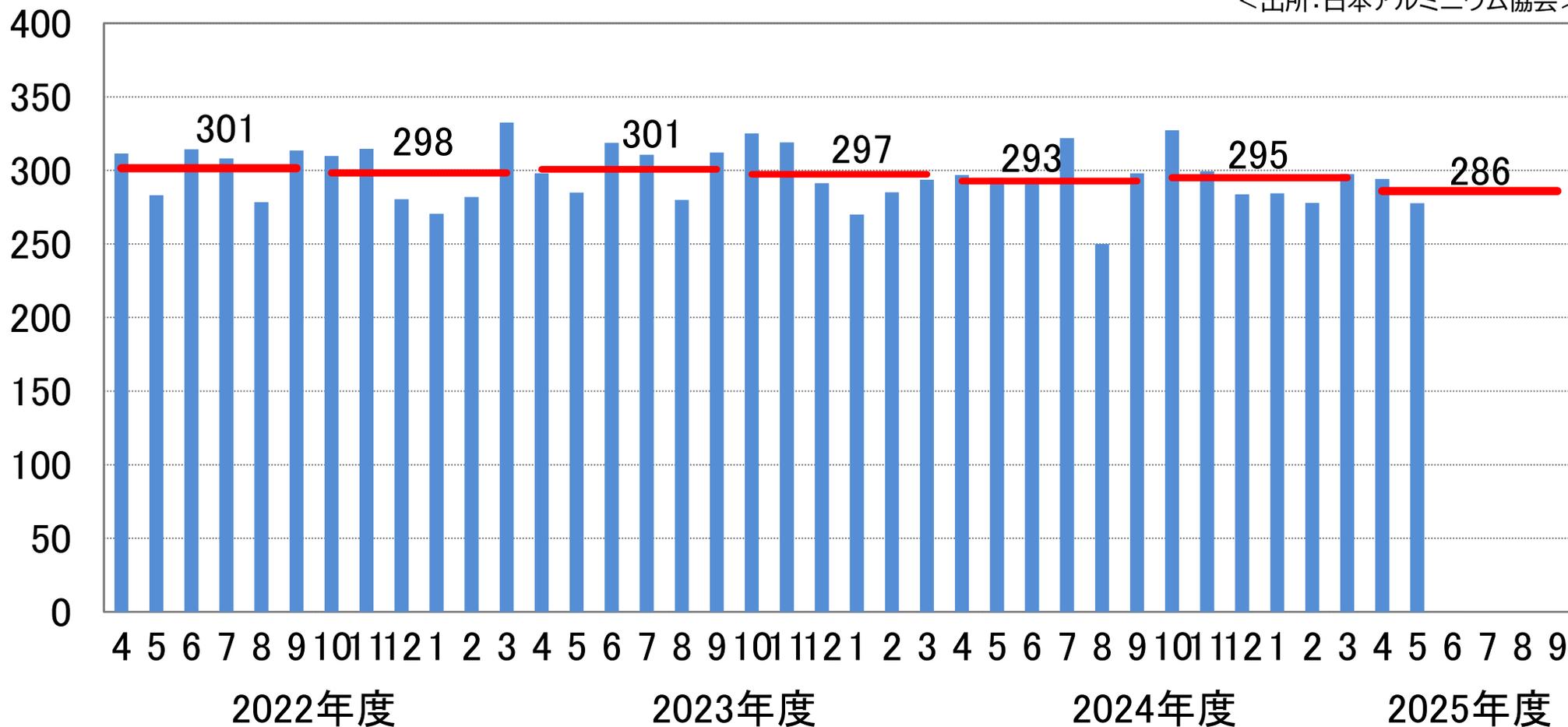
諸元と感応度

	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 予想	25/4-6 実績	経常利益への 感応度
アルミ地金 (円/kg)	389	471	470	439	10円/kg上昇した場合 △4億円/年
為替 (円/米ドル)	145	153	150	145	10円円高となった場合 ±0 営業利益+7億円/年 営業外損益△7億円/年
ドバイ原油 (米ドル/BBL)	82	79	80	67	10ドル/BBL上昇した場合 △8億円/年

国内アルミ製品総需要の推移

(千トン)

<出所:日本アルミニウム協会>



補足資料

製品販売量

(千t)

	2024/4~6 実績	2025/4~6 実績	増減
日軽エムシーアルミ(二次合金)	66.2	66.0	△0.2
国内	32.0	30.0	△2.0
海外	34.2	36.0	+1.8
日軽金・板(板製品)	14.9	15.8	+0.9
日軽金アクト(押出製品)	7.2	7.2	±0

主要会社の業績

(億円)

	2024/4~6 実績			2025/4~6 実績		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属(単体)	340	18	57	400	20	66
東洋アルミニウム(連結)	266	18	21	279	22	20
日軽エムシーアルミ(連結)	256	3	3	267	6	6
日本フルハーフ(連結)	171	0	0	177	3	3
日軽金アクト(連結)	82	5	5	90	1	0
日軽パネルシステム(連結)	67	5	5	78	6	7
日軽金ALMO	69	△8	△9	72	△3	△4

主要会社の業績

(億円)

	2024/4~9 実績			2025/4~9 予想		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属(単体)	712	37	73	801	34	77
東洋アルミニウム(連結)	532	32	29	547	37	33
日軽エムシーアルミ(連結)	503	8	10	533	11	11
日本フルハーフ(連結)	358	△1	△1	377	9	8
日軽金アクト(連結)	166	8	7	177	2	2
日軽パネルシステム(連結)	138	11	11	150	11	12
日軽金ALMO	140	△14	△16	147	△6	△7

主要会社の業績

(億円)

	2024年度 実績			2025年度 予想		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属(単体)	1,508	68	100	1,612	38	78
東洋アルミニウム(連結)	1,092	55	50	1,113	71	65
日軽エムシーアルミ(連結)	1,038	15	19	1,174	25	26
日本フルーフ(連結)	724	5	4	770	17	16
日軽金アクト(連結)	344	19	17	360	9	8
日軽パネルシステム(連結)	322	41	42	320	32	33
日軽金ALMO	301	△25	△29	303	△10	△15

本資料についての注意事項

1. 本資料は2026年3月期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本資料のなかで記述しております将来の動向や業績等に関する見通しは、歴史的事実でないためリスクと不確定な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、予測しえない経済状況の変化などさまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与える重要な要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供する製品やサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与える重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
3. 本資料の中で記述しております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、今後予告なく変更される場合があります。
4. 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。